

日本語・イタリア語対照研究

— 「高・低」 vs 「alto・basso」 —

古 浦 敏 生

§1 はじめに

事物に「高・低」は付きものである。たとえば「高温」と「低温」は対極関係にあり、互いに反義語 (*antonym*) であると言える。この「高」・「低」の対立は全世界に共通する現象であって、イタリア語でも、「高温」は *alta temperatura* で、「低温」は *bassa temperatura* で表現される。したがって、日本語の接頭辞「高」はイタリア語の形容詞「alto」に、日本語の接頭辞「低」はイタリア語の形容詞「basso」に、それぞれ対応すると言える (注 1)。

しかし、*alta voce* は「大声」であって、「*高声」とは言わないし、*bassa voce* は「小声」であって、「*低声」とは言わない (但し、「高い声」「低い声」のような形容詞表現は可)。また、「高所恐怖症」はイタリア語では *acrofobia* であって、*alto* は含まれていない (注 2)。さらに、*bassa Italia* は「南イタリア」であって、「*低イタリア」とは言わない。このように、「高」は必ずしも「alto」に、「低」は必ずしも「basso」に対応するわけではないので、両者の対応・非対応を精査して、日伊両言語の特徴をクローズアップさせたいと思う。

§2 方法論

筆者は、日本語とイタリア語との対照研究をテーマとしてきた (注 3)。今回はその一環として、各種の日本語・イタリア語辞典を資料とし、次の条件で用例を収集することとする。

(1) 日本語としては「高」または「低」を、イタリア語としては「alto」または「basso」を、それぞれ構成要素とする名詞(または名詞句)を収集する。そして、用例の末尾には掲載辞書の略号と出自ページ数を記しておく。

(2) 用例は、以下の 10 種のイタリア語辞書のうちのいずれかに、見出し語または派生語として掲載されているものに限る。なお、【 】内は辞書の略号である。

【プリ】: 秋山余思監修・高田和文ほか編『プリーモ伊和辞典』2011、白水社

【伊和】: 池田廉ほか 4 名編『伊和中辞典』第 2 版 1999、小学館

【白和】: 坂本鉄男編『和伊辞典』1988、白水社

【和伊】: 和田忠彦監修・西川一郎編『和伊中辞典』第 2 版 2008、小学館

【伊英】: *Grande Dizionario Hazon Garzanti, inglese-italiano, italiano-inglese*, XXII^a

ed. 1976

【伊々】： *Dizionario Garzanti della lingua italiana*, XII^a ed. 1974

【伊仏】： *Dizionario Garzanti francese-italiano, italiano-francese*, IX^a ed. 1974

【F-D】： De Felice, E. & Duro, A. : *Dizionario della lingua e civiltà italiana contemporanea*, 1975, Palumbo

【D-O】： Devoto, G. & Oli, G. C. : *Dizionario della lingua italiana*, 1987, Firenze

【Pal】： Palazzi, F. : *Novissimo dizionario della lingua italiana*, edizione a cura di G. Folena, 1975, Milano

(3) 但し、以下の4項目に関しては用例を割愛することとする。

(a) 日本語の場合、「高い」「低い」のように「高」または「低」のうしろに送り仮名の付いた「形容詞+名詞」表現（たとえば、「高い塔」、「低い塔」、「高い崖」、「低い崖」など）は、用例数が多くなりすぎるので割愛する（注4）。

(b) たとえ辞書に掲載されている表現ではあっても、日本語としてふさわしくないと筆者が判断したものも割愛した（たとえば、「背低（せびく）【伊和 180】」）。

(c) 「最高」と「最低」に関しては、*massimo*, *ottimo*, *supremo* 【和伊 583】 *minimo* 【和伊 587】と並んで、「定冠詞+*più*+*alto* (*basso*)」の表現も併存し、取り扱いが困難なので、割愛する（注5）。

(d) 日本語の接尾辞「高（だか）」には“集計結果やその金額”を表わす場合がある。たとえば、「現在高 *quantità attuale*【和伊 485】」、「残高 *resto, rimanenza*【和伊 620】」、「収穫高 *raccolto totale* 【和伊 1063】 【白和 467】」、「生産高 *produzione totale* 【和伊 1063】 【白和 563】」、「取引高 *volume d'affari* 【和伊 1063】」。これら5例は、“高い”という意味ではないので、割愛する。但し、「円高」、「声高」、「物価高」は、“金額”ではなく、“高い”という意味なので、採用する。

(4) 紛らわしさを避けるべく、辞書に専門用語としての指定枠があれば、《 》内に付す。

§3 用例

以下、日本語から見たイタリア語との対応関係と、イタリア語から見た日本語との対応関係に分けて、収集した用例を列記していこう。なお、「高」と「*alto*」が、「低」と「*basso*」が、それぞれ対応している用例には◎印を付す。【 】内の数字は出現ページである。

(1) 日本語から見たイタリア語との対応関係（掲載は「高」「低」の順、内訳は五十音順）
「高」の用例

円高 *yen forte* 【和伊 172】、◎高圧《工学》*alta pressione* 【和伊 499】、◎高圧《電気》*alta tensione* 【和伊 499】、◎高位 *alto rango* 【和伊 499】、◎高緯度 *alta latitudine* 【和伊 500】、◎高温 *alta temperatura* 【和伊 501】、◎高音 *tono alto* 【和伊 501】、◎高価 *prezzo alto, prezzo elevato* 【和伊 501】 【白和 339】、高雅 *eleganza* 【白和 339】、◎高麗

somma alta, grande somma di denaro 【和伊 503】 【白和 340】、◎高額所得者 persona di alto reddito【和伊 503】、高学年 classi superiori di una scuola elementare【和伊 503】、高學歷 titolo di studio elevato 【和伊 503】、高架鉄道 ferrovia sopraelevata 【和伊 501】、◎高官 alte cariche 【伊仏 1036】 【伊和 267】、◎高気圧 alta pressione atmosferica 【和伊 504】、◎高給 stipendio alto 【伊和 58】、◎高級官僚 alta funzionario 【伊和 58】、◎高級商店街 quartieri alti 【プリ 47】、◎高級婦人服 alta moda 【伊和 58】、◎高血圧 alta pressione di sangue 【白和 342】、高血圧症《医学》 ipertensione 【和伊 506】、◎高原 altopiano 【和伊 506】、高校 liceo 【和伊 507】、◎高山 alta montagna 【和伊 509】、高脂血症《医学》 iperlipemia 【和伊 510】、◎高次元 alto livello 【和伊 509】、高姿勢 atteggiamento prepotente 【和伊 510】、高射砲 cannone contraereo 【和伊 510】、◎高周波 onde ad alta frequenza 【白和 345】、◎高所 luogo alto, altitudine, altezza 【和伊 510】 【白和 345】、高所恐怖症《心理学》 acrofobia 【和伊 510】、◎高性能 alto potenziale 【和伊 513】、◎高積雲《気象学》 altocumulo 【和伊 513】、◎高僧 alto prelado, bonzo di alto rango 【和伊 514】 【白和 348】、◎高層雲《気象学》 altostrato 【和伊 514】、高層建築 grattacielo 【白和 348】、◎高速(度) alta velocità 【和伊 515】、高速道路 autostrada 【和伊 515】、◎高地 altopiano, altura 【伊和 59】 【和伊 515】、◎高地ドイツ語《言語学》 alto tedesco 【伊和 1588】、高弟 migliore discepolo 【白和 350】、◎高度 altitudine, altezza 【和伊 517】 【白和 350】、高騰 rialzo improvviso, forte aumento 【和伊 518】 【白和 350】、◎高等数学 alta matematica 【伊和 58】、◎高等馬術 alta scuola 【伊和 1403】、◎高熱 febbre alta 【和伊 519】、◎高配当(金額) alti dividendi 【F・D 87】、◎高分子《化学》 alto polimero, macromolecola 【和伊 521】 【白和 353】、◎高峰 alta vetta 【和伊 521】、◎高慢 superbia, altezzosità, arroganza, boria 【和伊 522】 【白和 353】、◎高揚(気分) esaltazione 【和伊 523】、◎高利 alto tasso d'interesse 【和伊 524】、高利貸 usuraio 【白和 355】、◎高率 tasso alto 【白和 355】、高齢 età avanzata, vecchiaia 【和伊 525】、高齢者 anziano 【和伊 525】、◎高炉 altoforno 【和伊 525】、◎声高 voce alta 【和伊 569】、◎背高 alta statua 【伊和 58】、高軀 russo forte 【白和 636】、◎高潮 alta marea 【和伊 935】、◎高潮(ヴェネツィアにおける) acqua alta 【和伊 935】、高台 collina 【和伊 935】、◎高波 alte onde 【和伊 935】、◎高嶺 alta cima 【和伊 935】、◎高値 prezzo alto 【和伊 935】、◎標高 altitudine, quota 【和伊 1368】、◎物価高 alto costo della vita 【和伊 1405】、

「低」の用例

◎低圧《工学》 bassa pressione 【和伊 1052】、◎低圧《電気》 bassa tensione 【和伊 1052】、◎低位株《相場》 azione di bassa quotazione 【白和 705】、◎低緯度 bassa latitudine 【F・D 239】、◎低雲 nuvole basse 【F・D 239】、◎低温 bassa temperatura 【和伊 1053】、◎低音 tono basso 【和伊 1053】、◎低下 abbassamento, caduta 【和伊 1053】 【白和 705】、低開発国 paese sottosviluppato 【白和 705】、低額 piccola somma di denaro 【和伊 1054】、

- ◎低額所得 reddito basso【白和 705】、低学年 primi anni di una scuola elementare, classi inferiori【和伊 1054】【白和 705】、◎低気圧 depressione atmosferica, bassa pressione atmosferica【和伊 1054】【白和 705】、◎低金利 basso tasso d'interesse【和伊 1054】、◎低空 bassa quota【和伊 1054】、◎低血圧 prassione bassa【白和 706】、低血圧症《医学》ipotensione【和伊 1054】、◎低減 diminuzione, abbassamento【和伊 1054】【白和 706】、低酸症《医学》ipoacidità【和伊】、◎低次元 basso livello【和伊 1055】、低姿勢 atteggiamento conciliante【和伊 1055】、◎低周波 onde a bassa frequenza【和伊 1055】、◎低速 (度) velocità bassa【和伊 1057】、◎低地 bassopiano, terre basse【和伊 180】【和伊 1057】、◎低地 アルプス地方 Bassi Alpi【和伊 1137】、◎低地 ドイツ語《言語学》basso tedesco【和伊 180】、◎低賃金 stipendo basso【和伊 180】、低能 imbecillità【和伊 1058】、◎低木 albero di basso fusto【和伊 1058】、低落 caduta【和伊 1059】、◎低率 bassa percentuale, basso tasso【和伊 1059】、低廉 buon mercato【和伊 1059】
- (2) イタリア語から見た日本語との対応関係 (掲載は「alto」「basso」の順、内訳はアルファベット順)。なお、(1)で◎印の付された用例は、(2)では省略する。

「ALTO」の用例

alta borghesia 大ブルジョワジー【伊仏 1036】【伊和 210】、alta finanza 財界の大物たち【伊仏 1036】、alta Italia 北イタリア【伊和 58】、Alta Lombardia ロンバルディーア州北部【伊英 1084】、alta marea 上げ潮、満ち潮【和伊 17】【プリ 46】、alta silenzio 深い静けさ、静寂【伊々 72】、alta società 上流社会【伊和 58】、alta stagione 最盛期【伊和 58】、alta tenuta 祝祭日の軍服【Pal 175】、alta voce 大声【伊和 58】、alte sfere 有力者【プリ 47】、Alto Adige アルト・アーディジェ (アーディジェ州北部)【伊和 58】、alto ingegno 天賦の才【伊英 1084】、alto mare 沖合い【プリ 47】、alto medioevo 中世初期【伊和 58】、alto Nilo ナイル川上流【伊々 72】、altoparlante 拡声器【伊和 59】、alto Po ポー川上流【伊和 58】、alto tradimento 大逆罪【伊和 58】【伊英 1084】、Camera Alta (議会の) 上院【伊和 58】、classi alte 上流階級【伊和 58】、fronte alta 広い額 (ひたい)【伊仏 1036】【伊和 651】、giorno alto お昼近く、真昼間【伊和 58】【D-O 87】、libro alto 厚い本【伊和 58】、mire alte 野望【伊々 72】、notte alta 深夜【伊和 58】、Pasqua alta 遅まきの復活祭【伊和 58】、sonno alto 深い眠り【伊和 58】、tacchi alti ハイヒール【伊和 1574】

「BASSO」の用例

bassa calunnia 卑劣な中傷【伊英 1137】、bassa forza 兵卒【伊和 639】、bassa Italia 南イタリア【伊和 180】【伊仏 1113】、bassa macelleria 質の悪い肉を売る肉屋【Pal 175】、bassa marea 引き潮【伊和 180】、bassa qualità 粗悪な品質【伊英 1137】、bassa stagione オフシーズン【伊和 180】、bassa tenuta 祝祭日以外の日の軍服【Pal 175】、bassa voce 小声【伊和 180】、basse origini 卑しい身分【伊和 180】、Basso Egitto 下エジプト (エジ

プト北部)【伊英 1137】、basso impero 末期のローマ帝国 (AD.4~5 世紀頃)【F・D 240】、bassofondo 下層階級【伊和 180】、basso latino 後期ラテン語【伊英 1137】、basso medioevo 中世後期【伊和 180】、basso Po ポー川下流【伊和 180】、bassorilievo《美術》薄肉彫り、浅浮き彫り【伊和 180】【プリ 127】、bassotto《動物》ダックスフント【伊和 180】、basso ventre 下腹部【伊和 1696】【伊仏 1113】、Camera bassa (議会の) 下院【伊仏 1113】、Campobasso カンポバッソ (モリーゼ州の州都)【プリ 179】、città bassa (高台ではない) 平地の街【伊和 330】【伊仏 1113】、colpo basso (ボクシングの) ローブロー【伊和 180】、fronte bassa 狭い額 (ひたい)【伊和 651】、gente bassa 庶民【伊仏 1113】、mare basso 浅瀬【伊和 180】、messa bassa 読誦ミサ、小ミサ (聖歌隊の合唱や音楽を伴わないミサ)【伊英 1137】、numeri bassi 少数【伊仏 1113】、oro basso 金の含有量の少ない金、18 カラット以下の合金【伊仏 1113】【Pal 175】、Paesi Bassi オランダ【プリ 127】、Pasqua bassa 早めに来る復活祭【伊和 180】、prezzo basso 安値【和伊 1622】、tacchi bassi ローヒール【伊和 180】

§4 用例の分析(1) ——集計結果と対応の構造

前節の結果を簡潔にまとめたのが次の表である。

対応の構造	alto	basso	その他
高	49(4)		21 (1)
低		23	10
その他	29	33	

「対応の構造」欄の縦に日本語の「高」「低」「その他 (=「高」「低」以外)」を、横にイタリア語の「alto」「basso」「その他 (=「alto」「basso」以外)」の順に提示している。もちろん、「高」と「basso」との対応や「低」と「alto」との対応はあり得ないので斜線を引いておいた。その結果、次のことが判明した。

(1) 日本語から見たイタリア語との対応関係について言えば、接頭辞「高」が alto と対応していたのが 49 例 (カッコ内の 4 は接尾辞での対応例数で内数)、「その他 (=「alto」以外)」と対応していたのが 21 例 (カッコ内の 1 は接尾辞での対応例数で内数) であった。また、接頭辞「低」が basso と対応していたのが 23 例、「その他 (=「basso」以外)」と対応していたのが 10 例であった。なお、「低」に関しては接尾辞の用例はゼロであった。

(2) イタリア語から見た日本語との対応関係について言えば、alto が「その他 (=「高」以外)」と対応していたのが 29 例、basso が「その他 (=「低」以外)」と対応していたのが 33 例であった。

以上の結果、「高」が「alto」と対応する場合は、全体 70 例 (49+21) のうちの 49 例ということで、 $49/70=70\%$ であった。また、「低」が「basso」と対応する場合は、全体 33 例 (23+10) のうちの 23 例ということで、 $23/33=約 70\%$ であった (小数点以下四捨五入)。

したがって、「高」・「低」は、ともに約70%の高い割合で「alto」・「basso」と対応していることが分かった。他方、「alto」が「高」と対応する場合は、全体78例(49+29)のうちの49例ということで、 $49/78 \approx 63\%$ であった。また、「basso」が「低」と対応する場合は、全体56例(23+33)のうちの23例ということで、 $23/56 \approx 41\%$ であった。したがって、「alto」・「basso」は、ともに約40%~60%というやや低い割合で「高」・「低」と対応していることが分かった。とりわけ「basso」が「低」と対応する場合の割合が低い。

§5 用例の分析(2) —— 「高 vs 低」 = 「alto vs basso」の対応

たとえば、日本語の「高気圧 vs 低気圧」のような「高 vs 低」の対立は、イタリア語においても「alto vs basso」の対立、すなわち、alta pressione atmosferica vs bassa pressione atmosferica として、対応表現となっている(pressione atmosferica は「気圧」の意)。このような対応表現を求めて調査してみた。その結果、以下の12例が見つかった。「=」は“対応表現となっている”を表わす)

高圧 vs 低圧 = alta pressione vs bassa pressione

高緯度 vs 低緯度 = alta latitudine vs bassa latitudine

高温 vs 低温 = alta temperatura vs bassa temperatura

高音 vs 低音 = tono alto vs tono basso

高額所得 vs 低額所得 = alto reddito vs reddito basso

高気圧 vs 低気圧 = alta pressione atmosferica vs bassa pressione atmosferica

高血圧 vs 低血圧 = alta pressione (di sangue) vs pressione bassa (di sangue)

高次元 vs 低次元 = alto livello vs basso livello

高周波 vs 低周波 = onde ad alta frequenza vs onde a bassa frequenza

高速 vs 低速 = alta velocità vs velocità bassa

高地 vs 低地 = altopiano vs bassopiano

高地ドイツ語 vs 低地ドイツ語 = alto tedesco vs basso tedesco

§6 用例の分析(3) —— 「高 ≠ alto」、「低 ≠ basso」、「alto ≠ 高」、「basso ≠ 低」の場合(「≠」は“対応していない、非対応”を表わす)

(1) 日本語からイタリア語を見た場合

「高 ≠ alto」の場合、たとえば「高齢 vs età avanzata」においては、alto に代わって avanzato “進んだ” が用いられている。このような代替要素をピックアップすると以下のとおりである。elevato “高められた”、forte “強い”、iper “超・過・上”、migliore “より良い”、superiore “上位の”。これら代替要素はおよそプラスイメージの、優位な意味を表わしている。

「低 ≠ basso」の場合、たとえば「低姿勢 vs atteggiamento conciliante」においては、

basso に代わって conciliante “妥協的な” が用いられている。このような代替要素をピックアップすると以下のとおりである。inferiore “下位の、下級の”、piccolo “小さい、少ない”、ipo- “下の”。これらはおよそマイナスイメージの、劣位な意味を表わす要素である。但し、“良い”というプラスイメージの要素で置き換えられている場合も存在する（低廉 buon mercato）。

(2) イタリア語から日本語を見た場合

「alto ≠ 高」の場合、たとえば「alta voce vs 大声」においては、「高」に代わって“大”が用いられている。このような代替要素をピックアップすると以下のとおりである。“重大な”、“北部の”、“上の”、“上流の”、“深い”、“有力な”、“初期の”、“広い”、“厚い”、“遅まきの”、“祝祭日(=晴れの日)の”、“最盛の”、“拡大の”。これら代替要素はおよそプラスイメージの、優位な意味を表わしている。但し、“初期の”と“遅まきの”とでは、時の流れが逆行している。

「basso ≠ 低」の場合、たとえば「bassa calunnia vs 卑劣な中傷」においては、「低」に代わって“卑劣な”が用いられている。このような代替要素をピックアップすると以下のとおりである。“南部の”、“下流の”、“粗悪な”、“祝祭日(=晴れの日)以外の日の”、“小さい”、“卑しい”、“下の(注6)”、“末期の”、“下層の”、“後期の”、“狭い”、“浅い”、“少ない”、“安い”、“早めに来る”。これら代替要素はおよそマイナスイメージの、劣位な意味を表わす要素である。但し、“末期の”・“後期の”と“早めに来る”とでは、時の流れが逆行している。

§7 用例の分析(4) —— 「高」・「低」・「alto」・「basso」の付いた地名の対照

ここで、視点を変えて、「高」・「低」・「alto」・「basso」の付いた地名を対照させてみよう。

まず、「高」の付いた日本の市名(2013年現在)を調べてみると、安芸高田(あき・たかた)(広島県);高知(こうち)(高知県);高石(たかいし)(大阪府);高崎(たかさき)(群馬県);高砂(たかさご)(兵庫県);高槻(たかつき)(大阪府);高萩(たかはぎ)(茨城県);高梁(たかはし)(岡山県);高浜(たかはま)(愛知県);高松(たかまつ)(香川県);高山(たかやま)(岐阜県);日高(ひだか)(埼玉県);豊後高田(ぶんご・たかた)(大分県);大和高田(やまと・たかた)(奈良県);陸前高田(りくぜん・たかた)(岩手県)の計15市が挙げられる。

町名としても、高島・高月・高取・高遠・高根・高根沢・高森・高柳・飯高・日高・穂高、など数多い。しかし、「低」の付いた市名・町名はどうも見あたらないようである。

次に、「alto」の付いたイタリアの町名を調べてみると、以下の町が見つかった。Altamura アルタムーラ(プーリア州);Altare アルターレ(リグーリア州);Altavilla Irpina アルタヴィッラ・イルピーナ(カンパーニャ州);Altavilla Milicia アルタヴィッラ・ミリチャ(シチリア州);Altavilla Silentina アルタヴィッラ・スイレンティーナ(カンパーニャ州);

Altavilla Vicentina アルタヴィツラ・ヴィチエンティーナ (ヴェネト州) ; Alto アルト (ピエモンテ州) ; Altofonte アルトフォンテ (シチリア州) ; Altomonte アルトモンテ (カラブリア州) ; Altopascio アルトパッショ (トスカーナ州) の計 10 町。

そして、「basso」の付いたイタリアの町名を調べてみると、以下の町が見つかった。

Bassano di Grappa バッサーノ・ディ・グラッパ (ヴェネト州) ; Bassano Romano バッサーノ・ロマーノ (ラツィオ州) ; Bassiano バッスィアーノ (ラツィオ州) ; Campobasso カンポバッソ (モリーゼ州) の計 4 町。

以上、調査の結果、“日伊両言語とも、「高」・「alto」のほうが、「低」・「basso」よりも優位である。とりわけ日本語では「低」を含む地名が見つからない。しかし、イタリア語では、少数ではあっても、「basso」の付いた町名が存在する。とりわけモリーゼ州では、州都に basso が付いている。Campobasso カンポバッソ「(直訳)：“低原”を参照”。

前節でも触れたように、「basso」には“卑劣な”“粗悪な”“卑しい”“下層の”といったマイナスイメージが存在する。しかし、イタリア人はこの「basso」を町名に組み込んでいる。こういったイタリア人の“「basso」に対するこだわりの無さ”はどう説明すればよいのであろうか？それは、イタリア語の「alto」に“高い”と“深い”という二つの対立する意味が存在するからではあるまいか。“上に向かっても、下に向かっても、距離さえ同じであれば、それは同じことである”という考え方は、古代ローマ時代からあった(注 7)。それゆえ、「basso」に対する卑下の気持ちが減少しているのであろうと筆者は愚考する。

§8 まとめ

最後に本稿で明らかになった主な事柄と、そのほかに筆者が気付いた事柄を列記しておこう。

(1)日本語の「高」・「低」からイタリア語の「alto」・「basso」との対応を見た場合、「高」と「alto」との対応は 70%であり、「低」と「basso」との対応は約 70%であった。したがって、「高」・「低」ともに約 70%の高い割合で「alto」・「basso」と対応していることが分かった。他方、イタリア語の「alto」・「basso」から日本語の「高」・「低」との対応を見た場合、「alto」と「高」との対応は約 63%であり、「basso」と「低」との対応は約 41%であった。したがって、「alto」・「basso」ともに 40%~60%というやや低い割合で「高」・「低」と対応していることが分かった。とりわけ「basso」と「低」との対応の割合が低い。このイタリア語から見た対応の低さは、「alto」・「basso」のほうが「高」・「低」よりも意味域が広いことに起因しているものと思われる。(§4 を参照)。

(2)たとえば、日本語の「高気圧 vs 低気圧」のような「高 vs 低」の対立が、イタリア語においても「alto vs basso」の対立として表現されているかどうかを調査したところ、高気圧 vs 低気圧 = alta pressione atmosferica vs bassa pressione atmosferica を含めて 12 例が見つかった。(§5 を参照)。

- (3) 「高 vs alto」と「低 vs basso」のペアがそれぞれ非対応の場合 (§6 を参照)。
- (a) 日本語の「高」が「alto」に対応していない場合、「alto」は“進んだ”、“高められた”、“強い”、“超-、過-、上-”、“より良い”、“上位の”といった優位な意味を表わす形容詞や接頭辞に置き換えられている。
- (b) 日本語の「低」が「basso」に対応していない場合、「basso」は“妥協的な”、“下位の”、“下級の”、“小さい、少ない”、“下の”“安い”“ロー”といった劣位な意味を表わす形容詞や接頭辞で置き換えられている。(但し、“安い”“ロー(low)”は必ずしも劣位な意味に限られるわけではない)
- (c) イタリア語の「alto」が「高」に対応していない場合、“大きな”“重大な”“北部の”“上の”“上流の”“深い”“有力な”“初期の”“広い”“厚い”“遅まきの”“祝祭日(=晴れの日)”“最盛の”“拡大の”といったおよそ優位な意味を表わす形容詞や接頭辞で置き換えられている。(但し、“初期の”と“遅まきの”とでは時の流れが逆行している)。
- (d) イタリア語の「basso」が「低」に対応していない場合、“卑劣な”“南部の”“下流の”“粗悪な”“祝祭日(=晴れの日) 以外の日の”“小さい”“卑しい”“下の”“末期の”“下層の”“後期の”“狭い”“浅い”“少ない”“安い”“早めに来る”といったおよそ劣位な意味を表わす形容詞や接頭辞で置き換えられている。(但し、“末期の”・“後期の”と“早めに来る”とでは時の流れが逆行している)。
- (4) 「高」・「低」・「alto」・「basso」の付いた地名を対照させたところ、日伊両言語とも、「高」・「alto」のほうが、「低」・「basso」よりも多数であった。とりわけ日本語では「低」の付いた地名が見あたらない。しかし、イタリア語では、少数ではあっても、「basso」の付いた地名が存在する。たとえば、Campobasso。(§7 を参照)。
- (5) 日本語の接尾辞「高(だか)」には“集計結果やその金額”という意味を表わす場合がある。たとえば、「現在高」、「残高」、「収穫高」、「生産高」、「取引高」。但し、例外もある。たとえば、「円高」、「声高」、「物価高」。イタリア語の alto にはこの種の用法は存在しない。
- (6) 「高」「低」、「alto」「basso」の語順は、日本語・イタリア語ともに、「高・低」「alto・basso」の順となり、「*低・高」、「*basso・alto」とはならない。つまり、優位なもの(「高」「alto」)が前置される語順である。(注8)

注

- (注1) 「高・低」の場合はその大半は接頭辞であるが、時には「円高」、「取引高」のように、接尾辞となることもある。「alto・basso」の場合はその大半は形容詞であるが、時には altopiano “高地”、abbassamento “低下” のように、語頭や語中に構成要素として組み込まれる場合もある。

(注 2) 心理学用語の *acrofobia* は、ギリシャ語由来の接頭辞 *acro-* “最高、頂点、先端” と、同じくギリシャ語由来の接尾辞 *-fobia* “恐れ” との合成語である。

(注 3) 拙著『日本語・イタリア語対照研究』2008、(株)文流

拙著『イタリア語文法研究』2013、(株)文流、第 IV 部「対照言語学研究」pp.279-392

(注 4) また、「高さ」「高み」「高まり」「高邁(な精神)」などは、「形容詞+名詞」構造ではないので割愛した。

(注 5) その結果、以下の 5 項目は割愛した。

◎最高経営管理組織 (= トップマネジメント) *alta direzione* 【伊英 1084】

最高裁判所 *Corte Suprema* 【白和 387】

◎最高司令部 *Alto Comando* 【伊和 58】

最高潮 *culmine* 【白和 387】

◎最高峰 *la vetta più alta* 【白和 387】

(注 6) イタリアでは地図上、「北部」が「上で」、「南部」が「下」である (*alta Italia* 「北イタリア」 vs *bassa Italia* 「南イタリア」)。しかし、エジプトでは、「北部」が「下(しも)エジプト」で、「南部」が「上(かみ)エジプト」である。これは、ナイル川が南から北に向かって流れていることに起因している。つまり、北部がナイル川下流域なので「下エジプト」となっている。

(注 7) *alto* の語源であるラテン語 *altus* にも“高い”と“深い”の両方の意味が存在する。

(注 8) 優位な要素が後置される特殊な例として、日本語の「苦楽」「損得」「貧富」などが挙げられる。

参考文献

田中晴美編集主幹『現代言語学辞典』1988、成美堂

Atlante geografico moderno De Agostini, 1986, Novara